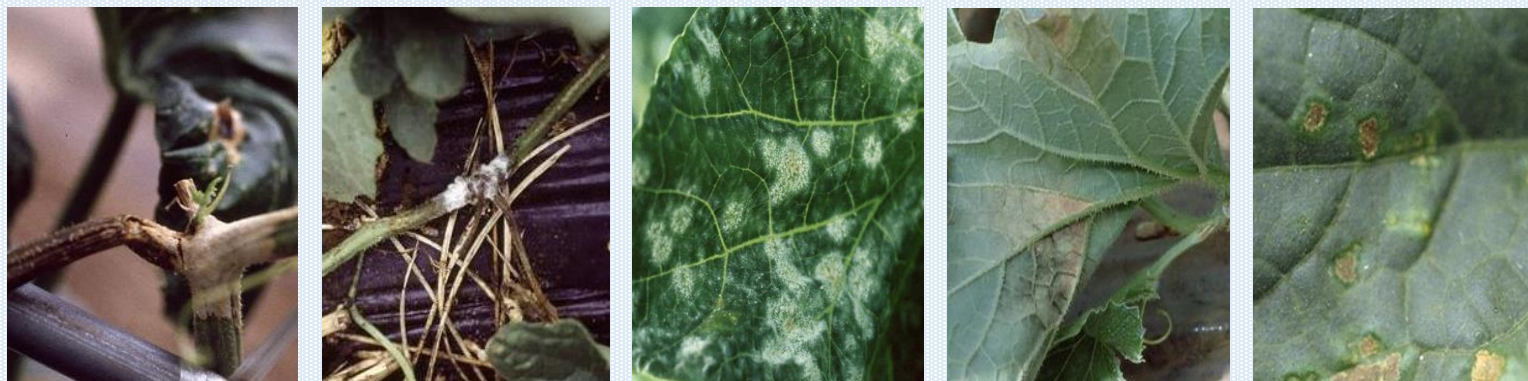




半促成メロンの病害虫発生に注意しましょう

メロン栽培で生育の中～後期に発生してくる主な病害虫として、**つる枯病、菌核病、うどんこ病、べと病、斑点細菌病、アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類、アザミウマ類**などがあります。病害は、ほとんどが多湿条件や曇雨天が続くと多発生しやすい傾向ですが、うどんこ病では乾燥条件でも蔓延します。害虫類は、比較的高温や乾燥条件を好み、ハウス内や周辺に害虫の寄生植物や雑草があると、そこから移動してきて増殖します。早期発見に努め、適期防除を行ってください。



左から
つる枯病
菌核病
うどんこ病
べと病
斑点細菌病

表1 メロン つる枯病、菌核病、うどんこ病、べと病、斑点細菌病の主な防除薬剤

(令和 7 年 3 月 10 日現在)

薬 剤 名	対 象 病 害					希釈倍数	使用時期／使用回数	分類	ミツバチ※※※
	つる枯病	菌核病	うどんこ病	べと病	斑点細菌病				
ベルクトフロアブル ※	○	○	○			1,000 倍	収穫前日まで／ 5 回以内	M07	○
ジマンダイセン水和剤	○			○	○	400～600 倍	収穫 7 日前まで／ 5 回以内	M03	○
ダコニール 1000 ※※			○			700 倍	収穫 3 日前まで／ 5 回以内	M05	○
	○			○		700～1,000 倍			
プロポーズ顆粒水和剤 ※※	○			○		1,000 倍	収穫 3 日前まで／ 5 回以内	40 と M05	1 日
パレード 20 フロアブル	○	○	○			2,000～4,000 倍	収穫前日まで／ 3 回以内	7	○
ファンベル顆粒水和剤 ※	○	○	○			1,000 倍	収穫前日まで／ 5 回以内	11 と M07	—
ポリオキシ A L 水溶剤	○		○			1,000～2,000 倍	収穫前日まで／ 5 回以内	19	○
スミレックス水和剤		○				2,000 倍	収穫前日まで／ 3 回以内	2	1 日
パンチョ T F 顆粒水和剤			○			2,000 倍	収穫前日まで／ 2 回以内	3 と U06	○
カスミンボルドー			○		○	1,000 倍	収穫 3 日前まで／ 5 回以内	24 と M01	—
フェスティバル C 水和剤				○		1,000 倍	収穫前日まで／ 3 回以内	40 と M01	1 日

注 1) 表中※印の薬剤には有効成分イミノクタジンが、※※には TPN が含まれており、農薬の総使用回数に注意してください。

注 2) 表 1 および 2 の※※※印は、ミツバチへの影響日数(目安)を令和 6 年版県防除指針から、○は薬液が乾けば影響なし、その他は影響日数を記載していますが、天候、施設内の環境条件により日数が前後することがあるので注意が必要です。なお、—は掲載なしです。

注 3) 表 1、表 2 の分類欄には、FRAC または IRAC コードを記載しました。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表2 メロン アブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類の主な防除薬剤 (令和 7 年 3 月 10 日現在)

薬 剤 名	対 象 害 虫					希釈倍数	使用時期／使用回数	分類	ミツバチ※※※
	アブラムシ類	ハダニ類	アザミウマ類	コナジラミ類	ハモグリバエ類				
ウララ D F	○			○		2,000～4,000 倍	収穫前日まで／ 2 回以内	29	○
						2,000 倍			
モベントフロアブル	○	○	○	○		2,000 倍	収穫前日まで／ 3 回以内	23	1 日
グレーシア乳剤		○	○	○	○	2,000 倍	収穫前日まで／ 2 回以内	30	—
コロマイト乳剤		○		○	○	1,000 倍	収穫前日まで／ 2 回以内	6	1 日
マイトコーネフロアブル		○				1,000 倍	収穫前日まで／ 1 回	20 D	1 日
ディアナ S C			○		○	2,500～5,000 倍	収穫前日まで／ 2 回以内	5	3 日
				○		2,500 倍			
サンマイトフロアブル	○	○		○		1,000～1,500 倍	収穫 3 日前まで／ 2 回以内	21 A	4 日
トランスフォームフロアブル				○		1,000～2,000 倍	収穫前日まで／ 3 回以内	4 C	10 日
	○					2,000 倍			
スタークル顆粒水溶剤	○		○			3,000 倍	収穫 3 日前まで／ 2 回以内	4 A	14 日
				○		2,000 倍			
				○		2,000～3,000 倍			
アグリメック		○	○	○		500～1,000 倍	収穫前日まで／ 3 回以内	6	14 日

薬剤散布:
葉裏や
下葉にも
よくかかる
ようにする

ミツバチ
交配の場合:
交配期が
終わるまで、
ミツバチへの
影響日数
(目安)に
十分注意する

薬剤耐性菌や
抵抗性
害虫対策:
分類(コード)の
異なる薬剤で
ローテーション
散布を実施する

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。